郷土資料館 開館30周年

問郷土資料館　☎(61)4700

平成４年企画展「なつかしの風景Ⅱ家と町並み」

平成元年特別展「安田靫彦の画と書」

学級「古文書裏打ちの会」

学級「海の教室」

郷土資料館は、開館30年を迎えます。30年の歩みを振り返り、4～9月にかけて、関連の企画展等を開催します。

郷土資料館って、どんなところ？

県立大磯城山公園内にある大磯町の博物館です。「湘南の丘陵と海」をテーマに、大磯町と周辺地域に関する考古、歴史、民俗、自然の資料を収集、保管、調査し、展示などの活動に活用する施設です。資料の収集、調査、展示などの活動は、学芸員という博物館の専門職員が行っています。

郷土資料館では何ができるの？

常設展示室では、考古、歴史、民俗、自然に関する資料を展示し、大磯町の特徴を紹介しています。地域の歴史や自然環境を学ぶことができます。

期間を限って行う企画展では、常設展示では紹介しきれない地域に関する事を、特定のテーマで紹介しています。最近では、城山荘、アオバトなどをテーマとした企画展を開催しました。

また、資料の調査に参加する学級講座も開催しています。講座に参加することによって、貴重な資料を身近に調べることができます。

現在開催中の講座

- 大磯自然観察会
- 海の森クラブ
- 海の教室
- 古文書裏打ちクラブ
- 古文書解読クラブ
- 写真整理クラブ
- 石仏クラブ

会員の募集については、郷土資料館へお尋ねください。

郷土資料館 30年の歩み

昭和63年	10月25日　開館
昭和63年	特別展「町屋園の日々―島崎藤村とその周辺―」開催
平成元年	入館者数3万1千6百人(当時の町の人口)を達成
平成3年	入館者数10万人達成
平成3年	特別展「大磯と吉田茂」開催
平成11年	学級型事業の開始
	当時の学級「民俗に親しむ会」、「草と木の調査」
平成15年	入館者数50万人達成
平成19年	ブログ「大磯町郷土資料館ノート」開始
平成20年	開館20周年記念展「Collectibles Oiso」開催
平成28年	11月3日　リニューアルオープン
平成29年	4月1日　旧吉田茂邸（郷土資料館別館）開館

開館30周年記念企画第1弾

「大磯町郷土資料館30年間の軌跡―大磯町の博物館活動を振り返る―」

準備期間を含めた開館当時の様子から、地域博物館としての活動内容、収集資料の特徴を紹介します。

▼**とき**　4月28日（土）～6月10日（日）

▼**ところ**　郷土資料館　企画展示室

▼**観覧料**　無料

旧吉田茂邸　1周年目前に10万人達成！

旧吉田茂邸は平成29年4月1日に一般公開を開始し、公開から281日目の3月13日に、観覧者数が10万人に達成しました。10万人目の観覧者は藤沢市在住の犬塚宣夫さんでした。